

JASMA 会報

2022年4月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール表彰式開催(オンライン)	1
第168回理事会(ウェブ会議)開催	2
第33回部品部会(ウェブ会議)開催	3
FISMA及び大阪ミシンショー出展	3
JASMA部会・委員会・WGの紹介	4
第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始	4

第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール表彰式開催(オンライン)

2022年3月5日(土)、日本工業倶楽部(東京都千代田区丸の内)において、第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール表彰式をオンラインで開催しました。

当日は受賞者が全員オンラインで出席し、会場は来賓、審査委員、報道関係者、当工業会関係者等21名の出席がありました。

最初に主催者の内梨晋介会長から「東京はじめ各地で「まん延防止等重点措置」が延長され、本日の表彰式は、残念ながらオンライン開催となった。今回も全国から多くの応募をいただき、応募校数637校、応募点数3,689点であった。寄せられた作品の中にはエコバッグやマスクなど世相を反映した作品等が多く、どの作品も出来栄が素晴らしく、審査委員の先生方も審査するのに苦労されたようだ。経済産業大臣賞受賞作品は来る4月27日から29日まで、東京ビッグサイトで開催される「2022日本ホビーショー」の当工業会ブースに展示し、来場者に紹介する予定である。最近、手軽に安価な洋服を手に入れることができるようになったが、時代は変わっても、衣類や小物などを作ることを通し親子のコミュニケーションが良くな

り、絆が深まることは変わらないことだと思う。また、近年SDGsへの関心の高まりから、衣類のリサイクル、アップサイクルの動きも加速しており、このような動きも取り込んでいけたら良いと思っている。今後もモノづくりの楽しさ、感動をお友達にも伝えてほしい。将来子供たちが成長され、アパレルやファッション、繊維関連の分野で活躍されることを心から願っている。」と挨拶がありました。続いてご来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課長 安田 篤殿から「ミシンを使った「作品づくり」は、今の日本の産業を支える「モノづくり」の原点である。ミシンは200年以上前に人々の暮らしを便利に、豊かにしたいと思って発明されたもので、現在の日本製ミシンは世界に誇る機能、性能を持った機械となった。受賞された皆様はこれからもアイデアを形にしていくことに挑戦してほしい。」と挨拶後、文部科学省 初等中等教育局 参事官(高等学校担当) 山村 季代殿からは「モノづくりで得られる「充実感・達成感・緻密さ」のこだわりは忍耐性、仲間とのチームで磨かれる「協調性や自発性」などこれからの社会を生き抜いていく上で極めて重要なものであり、将来はアパレル・ファッション・繊維産



業を担うスペシャリストになることを強く希望している。」と挨拶をいただきました。

経済産業大臣賞は、安田課長から最優秀賞の5名に、また、文部科学大臣賞は山村参事官から小学校、中学校、高等学校のそれぞれ各1校にホームソーイング振興最優秀校として、賞状・副賞が授与されました。

この他優秀賞、アイデア賞については、内梨会長から賞状・副賞の授与が行われました。

審査結果については、岩田 澄江審査委員長代理から「作品のアイデアの豊かさ・オリジナリティの高さ」が見られた。おうち時間が長かった分、保護者や先生など身近な大人が関わったと考えられ、技術向上に繋がったと思われる。ミシンのもつ多様な機能を活用し、自分のイメージを具

現化したデザイン性の高い作品が多かった。」と審査結果の総評が語られました。

受賞者を代表して「高校生の部・衣服作品部門」の最優秀賞を受賞した千葉県立佐倉東高等学校 知久 結衣子さんから「賞をいただいた「ウエディングドレス」は、トップのレースをチャイナ風の形にして自分の身体にピッタリ合うよう何度も補正を繰り返した。完成させるまでには試行錯誤を重ね、最後には納得のいく作品に仕上がった。この作品は3年間の集大成でもあるのでこの様な素晴らしい賞を頂き光栄である。卒業後は、専門学校に進学し、この受賞を大きな励みに頑張っていきたい。」と挨拶がありました。

最後にイラストレーター 津田 蘭子殿の特別講演が行われました。



安田 篤 課長



山村季代 調査官



岩田澄江 審査委員長代理

第168回理事会（ウェブ会議）開催

2022年3月5日（土）、12時45分より（一社）日本工業倶楽部（東京都千代田区丸の内）において、当工業会の第168回理事会を開催しました。出席者は理事総数16名に対し出席理事は10名（会場出席 4名、ウェブ出席 6名）と過半数になり、理事会は成立しすべての議案を審議し承認可決しました。ご来賓として経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 横山 博之殿、係長 岡田 淳殿にご臨席（会場出席）いただき、議事終了後に「経済産業省関係令和3年度補正予算案・令和4年度当初予算案のポイント」等を中心にご説明をいただきました。



議題は以下のとおりです。

- 議題1. 2021年度事業報告（一部見込み）について
- 議題2. 2021年度収支決算見込みについて
- 議題3. 2022年度事業計画（案）について
- 議題4. 2022年度収支予算（案）について
- 議題5. 第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業及び第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業について
- 議題6. JIAM展について
- 議題7. 共通基盤ネットワーク研究会について
- 議題8. 今後のスケジュールについて 他



今後の主要な行事等は以下のとおりです。

(コロナウイルス感染症の状況によっては変更する場合があります。)

会議・行事名等	日時・時間・場所	議題他
第169回理事会(書面審議)	2022年5月 (一社)日本縫製機械工業会	①2021年度事業報告、決算報告 ②2022年度事業計画、収支予算 ③第53回定時総会の開催 他
正副会長会議	2022年6月3日(金) 12:30~14:50 (一社)日本工業倶楽部	①第53回定時総会の審議・報告事項 他
第53回定時総会	2022年6月3日(金) 15:00~17:00 (一社)日本工業倶楽部	①2021年度事業報告、決算報告 ②2022年度事業計画、収支予算 ③JIAM展について 他
第53回定時総会後懇親会(予定)	2022年6月3日(金) 17:30~18:30 (一社)日本工業倶楽部	定時総会後の懇親会
正副会長会議	2022年10月12日(水) 12:00~13:45 ホテルグランヴィア大阪	①第170回理事会の審議・報告事項 他
第170回理事会	2022年10月12日(水) 14:00~16:00 ホテルグランヴィア大阪	①2022年度上期の事業概要 ②2022年度下期の事業 ③JIAM展について 他
正副会長会議	2023年1月24日(火) 11:00~12:30 (一社)日本工業倶楽部	①2022年度予算執行状況 ②2023年度予算と会費徴収額 ③JIAM展について 他
2023年新年賀詞交歓会	2023年1月24日(火) 13:30~15:00 (一社)日本工業倶楽部	新年賀詞交歓会

第33回部品部会(ウェブ会議)開催

2022年3月10日(木)、10:00より当工業会会議室(東京都港区新橋)において「第33回部品部会」を開催しました。当日は廣瀬部品部会長をはじめ部会員4名、経済産業省2名を含めて8名が出席し、2021年年間のJASMA統計

及び縫製機械部品の工業会統計、2022年度部品部会事業計画案を説明し承認された。その後、市場動向に関する意見交換、情報交換を行いました。

FISMA及び大阪ミシンショー出展

第57回東京ファッション産業機器展(FISMA TOKYO)及び第53回大阪ミシンショーのJASMAブースで広報活動を実施。

2021年11月11日(木)~12(金)の2日間、東京ビッグサイトで開催された第57回東京ファッション産業機器展(FISMA TOKYO)及び2022年2月18日(金)~19日(土)の2日間、インテックス大阪で開催された第53回大阪ミシンショーへJASMAブースを出

展し、当工業会事業の紹介、JIAM 2022の広報活動を行いました。



第57回FISMA TOKYO開会式



第53回大阪ミシンショーJASMAブース

JASMA部会・委員会・WGの紹介

当工業会は、各事業活動を進めるにあたり、担当する部会・委員会・WG（ワーキンググループ）（以下、部会等）で、事業の目的、内容、進め方等を検討し、理事会・総会で承認後、各事業を推進しております。現在、当工業会では14の部会等があり、今回は知的財産権保護対策委員会の活動内容を紹介します。

知的財産権保護対策委員会

11社からなる委員構成で、外部から招いた講師による講演を行っています。また、世界市場を対象とした定期的模倣実態調査及び海外見本市を対象とした模倣実態調査を実施すると共に海外見本市の会場において委員相互の情報交換を行っています。

第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始

全国の小・中・高校生を対象としたホームソーイング小・中・高校生作品コンクールは第43回を迎えました。今回、新たに「SDGs特別賞」を設けました。全作品を対象としてSDGsの取り組みが小物を含めた衣生活にいかされた作品を選出します。詳細については当工業会ホームページをご覧ください。

1. 応募部門:

- (1) 小学生の部(4・5・6年生)
部門は特に設けていません。中学生、高校生の全ての作品部門を含みます。
- (2) 中学生の部
 - ① 小物・インテリア作品部門
 - ② 衣服作品部門
 - ③ リメイク・デコ作品部門
 - ④ アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門
- (3) 高校生の部
 - ① 小物・インテリア作品部門
 - ② 衣服作品部門
 - ③ リメイク・デコ作品部門
 - ④ アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

2. 応募作品、応募方法他:

当工業会ホームページをご覧ください。
なお、今回一部の応募は、写真による選考を行ないますのでご注意ください。

3. 締 切:2022年10月31日(月)

4. 応募先・お問い合わせ先:

一般社団法人日本縫製機械工業会
「第43回作品コンクール」係
TEL.03-6435-8190 FAX.03-6435-8192
Eメール: info@jasma.or.jp
URL: <https://jasma.or.jp>



編集後記

新年度に入り、新入社員を迎えたり異動により新しい風を感じていることと存じます。

11/30~12/3には「JIAM 2022 OSAKA」も控えております。

世界を取り巻く環境は不安な面も多々あると思いますが、新旧の力を融合させて、「明るく・元気に・前向きに」取り組んで参りましょう。

(Y.O)

JASMA 会報

Vol.19 No.1 2022年5月9日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者：湯原 孝志

〒105-0004
東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階
TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>
Eメール info@jasma.or.jp